

折板カバー工法

ニスフル-7[®] L145

高強度改修工法

特許取得済

特長

1

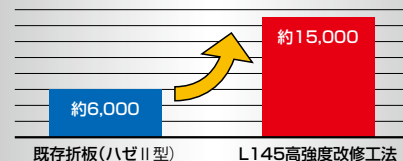
屋根の強度UPで飛散リスクを低減

高強度折板 L145 による折板改修により、負圧接合部の最大耐力
約 15,000 N を実現。

既存折板(ハゼⅡ型)の負圧耐力が約2倍※に強度UPします。

※既存折板の仕様や状態によっては、異なる場合があります。

負圧 接合部最大耐力の比較(N/1山)



2

断熱性向上による室内環境の改善

既存折板と L145 の間に空気層ができるため、建物自体の断熱性能が向上します。

更に断熱材を敷き込み断熱効果をアップさせることで、室内環境を改善し、冷暖房費の削減も可能です。

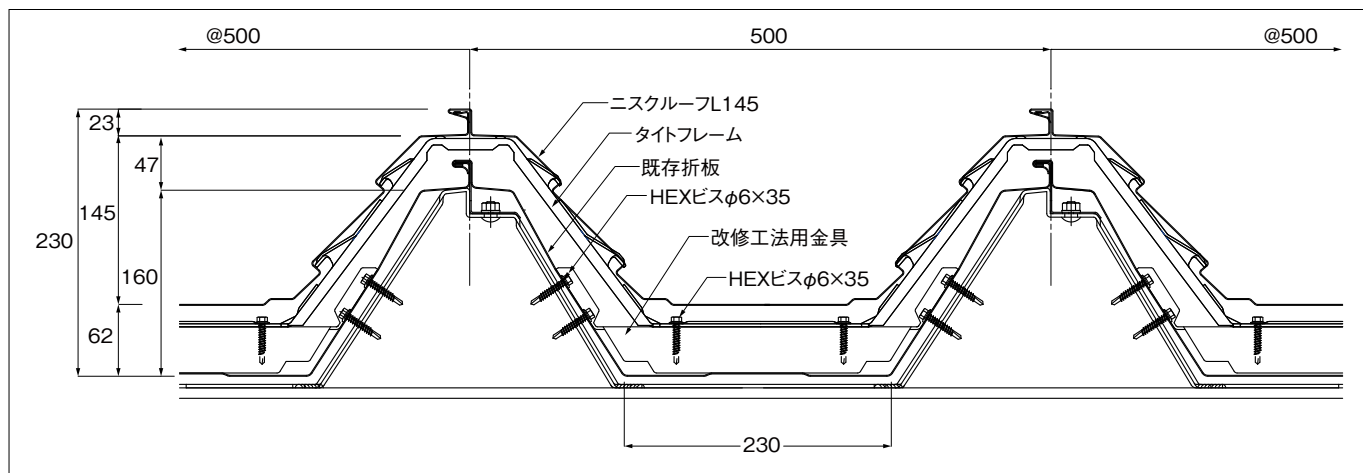
3

安全性・作業性に配慮

改修工法用金具と新設する L145 のタイトフレームは、ビスによる固定のため、溶接(火気使用)不要です。

また、改修工法用金具には、先孔加工を施し、タイトフレームの位置合わせとビス打ち作業の効率化を図っています。

断面形状図(一般部)

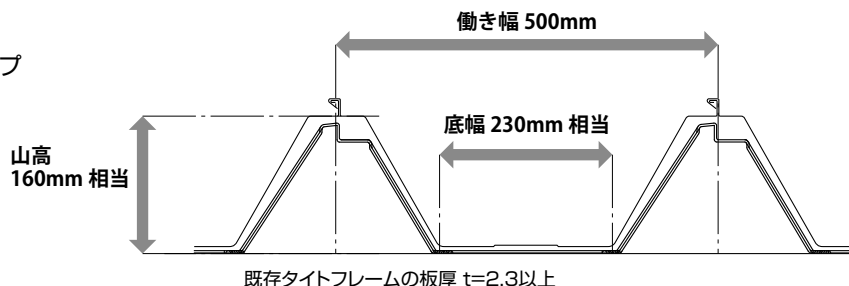


構成部材

L145改修工法用金具(230mmタイプ)セット	タイトフレーム	妻用タイトフレームセット
DL-71 (溶融亜鉛めっき鋼板) 70 277 60 40 ×8本 HEXビス φ6×35mm t=2.3mm	DL-10 (溶融亜鉛めっき鋼板) 162 500 1000 50 60 t=2.6mm	DL-15 (溶融亜鉛めっき鋼板) 妻用タイトフレーム 妻用押さえ金具 ボルト・ナット 102 60 50 156 51 52 83 314 t=2.6mm t=1.6mm M10 M10 l=20mm

既存折板
適用可否

【適用可】
ハゼⅡ型タイプ



【適用不可】

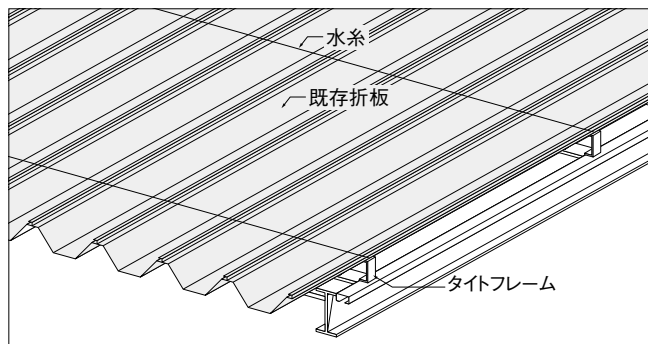
既存タイトフレームが以下のタイプで、改修工法用金具がビス固定できない場合。

例：斜辺が左右非対称なタイプ、独立(ロウソク)型タイプ、棟部/天秤タイプ等。

※上記以外にも既存屋根の形状や劣化状況、タイトフレームの配置・タイプによっては、適用できない場合もありますので、事前調査を十分に行ってください。

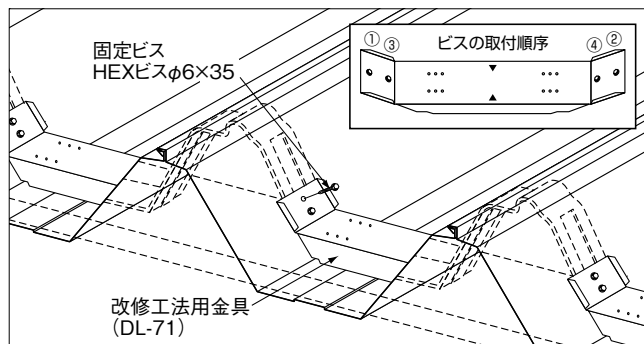
標準施工方法

1 墨出し



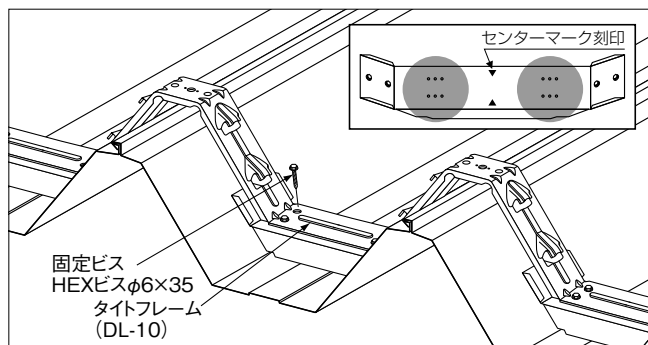
既存の梁(タイトフ্রেーム)位置を確認し、改修工法用金具の取付け位置の墨出しを行ってください。既存の妻用タイトフ্রেームの間隔をご確認ください。必要に応じて、けらば部を補強(妻用タイトフ্রেームの間隔1m程度を目安)してください。

2 改修工法用金具の固定



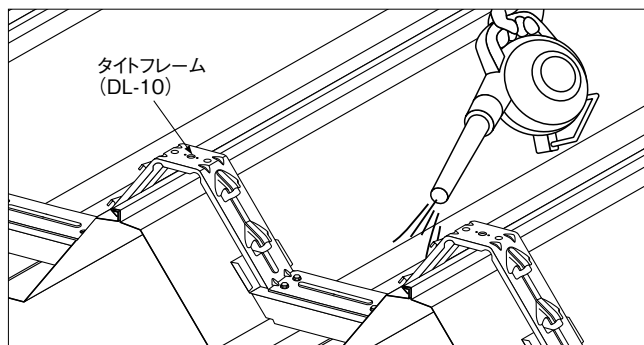
既存折板タイトフ্রেーム位置に、左右バランス良く固定するため、改修工法用金具を番号順にビスで固定します。
※必要に応じ室内側に養生(切粉や埃対策)を行ってください。

3 L145用タイトフ্রেームの固定



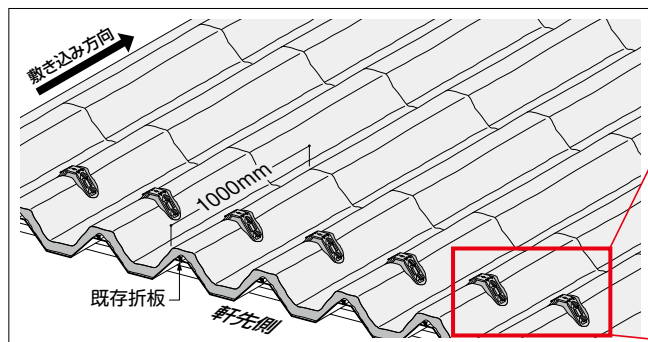
改修工法用金具の天面に3列ずつある先孔の位置にタイトフ্রেームを仮置きし、改修工法用金具の孔の合う場所でビス固定します。※溶接での固定は不可です。

4 屋根面の清掃



ブローなどで既存折板上を清掃してください。

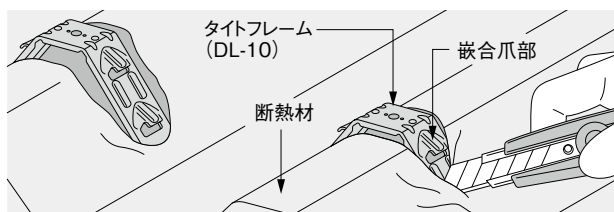
5 断熱材の敷き込み(オプション)



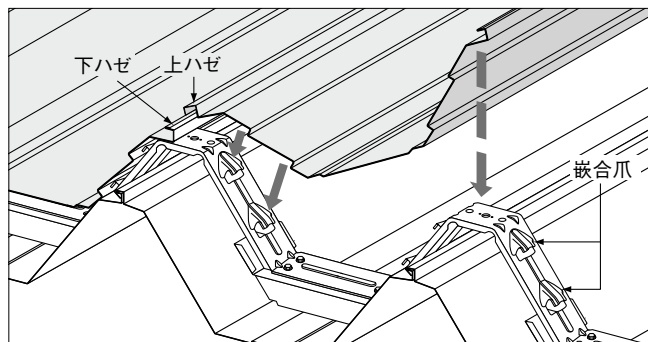
適用可能な断熱材
グラスウール(密度: 10kg/m³/厚さ: 50 ~ 100mm)

! 注意

L145 を嵌合させるため、タイトフ্রেーム部分については、グラスウールにカッターナイフなどで切れ目を入れ、必ず嵌合爪部を完全に露出させてください。



6 L145の施工



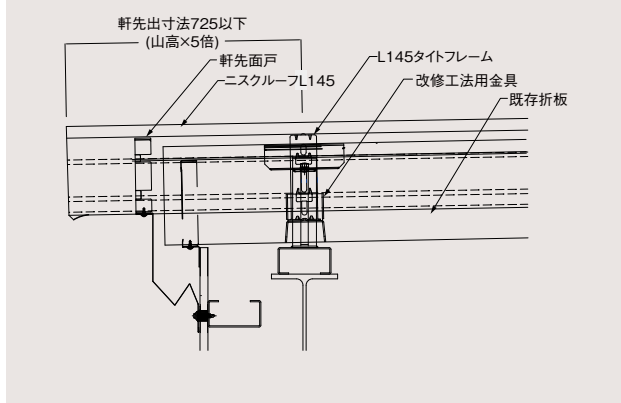
下ハゼに上ハゼを引っ掛けながら本体を落とし込みます。本体が嵌合している場合、タイトフ্রেーム上面の凸部によって本体へ施工マークが出ます。本体が嵌合していない場合、施工マークは出ません。

! 注意

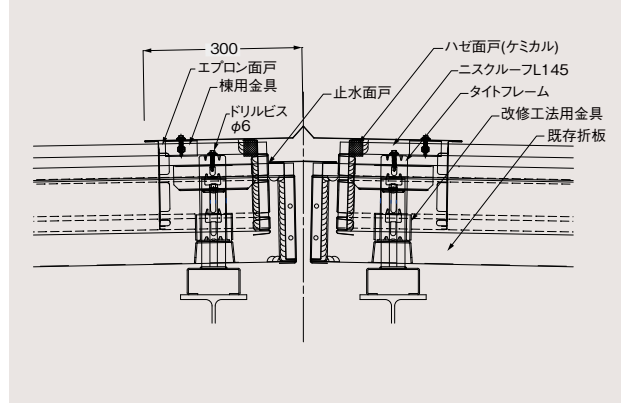
- 左図以降の施工(ハゼ締め作業や水上部の固定等)は、ニスクーフ® L145設計・施工マニュアルをご参照ください。
- 周辺部納めの重要性に関しては、ニスクーフ® L145 HandBookをご参照ください。
- 参考納まり図は、次ページをご参照ください。

参考納まり図

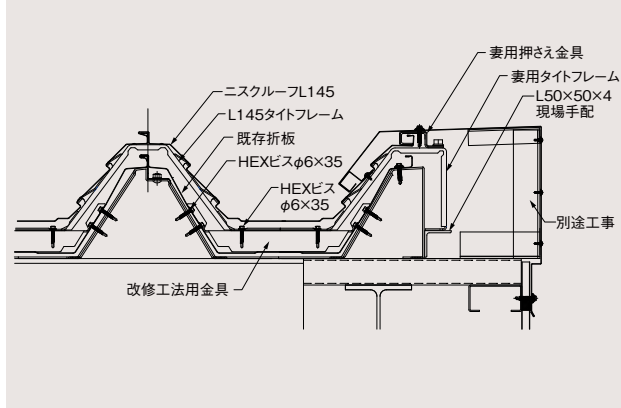
軒先部



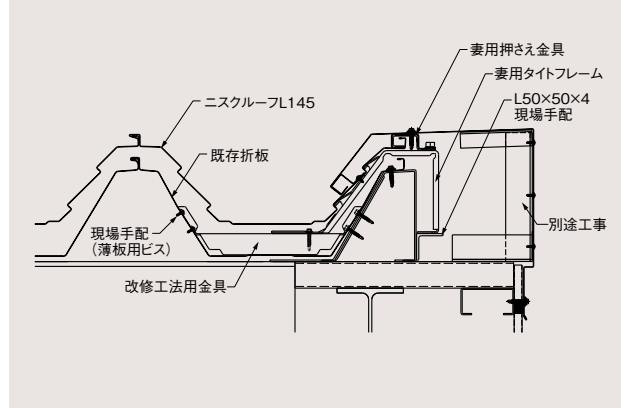
棟部



けらば部



けらば中間補強部



NIPPON STEEL

日鉄鋼板株式会社

検索は <https://www.niscs.nipponsteel.com/>



本社・鋼板営業第一部 〒103-0023 東京都中央区日本橋本町二丁目2番5号 日本橋本町二丁目ビル TEL 03-6848-3730 FAX 03-6848-3757
東北支店 〒980-0811 宮城県仙台市青葉区一番町三丁目6番1号 一番町平和ビル10F TEL 022-264-9861 FAX 022-264-9866
名古屋支店 〒450-0003 愛知県名古屋市中央区名駅南二丁目13番18号 NSビル6F TEL 052-564-7258 FAX 052-564-4759
大阪支店 〒541-0041 大阪府大阪市中央区北浜四丁目5番33号 住友ビル7F TEL 06-6228-8330 FAX 06-6228-8506
九州支店 〒812-0025 福岡県福岡市博多区店屋町5番18号 博多NSビル4F TEL 092-281-0051 FAX 092-281-0230
北陸営業所 〒930-0004 富山県富山市桜橋通り1番18号 北日本桜橋ビル4F TEL 076-432-9898 FAX 076-442-2924

●お問い合わせは・・・

※本資料に記載された技術情報は、弊社で実施した試験データ等の一例であり、その結果を保証するものではありません。
また、製品仕様等は、予告なく変更されることがあります。最新の情報については、弊社各担当部署にお問い合わせください。
※本資料に記載された内容の無断転載や複写は、ご遠慮ください。
※下記の名称は、日鉄鋼板株式会社の登録商標です。
「ニスクルーフ®」「折板カパー®」